

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 12 月 5 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/5 11:00 時点)

| 号機 | 注水状況 | | 原子炉压力容器 下部温度 | 原子炉格納容器 圧力*1 | 原子炉格納容器 水素濃度 |
|-----|-----------|---------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1号機 | 淡水 注入中 | 炉心スプレイ系：約 1.8 m ³ /h | 22.9 °C | 106.5 kPa abs | A系： 0.12 vol% |
| | | 給水系：約 2.4 m ³ /h | | | B系： 0.09 vol% |
| 2号機 | 淡水 注入中 | 炉心スプレイ系：約 3.4 m ³ /h | 31.4 °C | 8.64 kPa g | A系： 0.08 vol% |
| | | 給水系：約 1.9 m ³ /h | | | B系： 0.07 vol% |
| 3号機 | 淡水 注入中 | 炉心スプレイ系：約 3.3 m ³ /h | 30.6 °C | 0.23 kPa g | A系： 0.11 vol% |
| | | 給水系：約 1.9 m ³ /h | | | B系： 0.09 vol% |

*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【3号機原子炉建屋5階中央部近傍(機器貯蔵プール側)での湯気発生状況】

- ・H25/12/4 7:50 頃 湯気をカメラにて確認。(気象データ [12/4 7:50 時点]：気温 7.4℃、湿度 94.2%)
※プラント状況、モニタリングポスト指示値等に異常なし。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (12/5 11:00 時点)

| 号機 | 冷却方法 | 冷却状況 | 使用済燃料プール水温度 |
|-----|----------|------|-------------|
| 1号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 16.5 °C |
| 2号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 15.3 °C |
| 3号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 13.9 °C |
| 4号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 21.0 °C |

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

- ・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

| 号機 | 排出元 → | 移送先 | 移送状況 |
|-----|-----------|-------------------------------------|------------------|
| 2号機 | 2号機タービン建屋 | → 3号機タービン建屋 | 12/2 9:53～ 移送実施中 |
| 3号機 | 3号機タービン建屋 | → 集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容処理建屋 [高温焼却炉建屋]) | 11/6 9:27～ 移送実施中 |

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (12/5 11:00 時点)

| 設備 | セシウム吸着装置 | 第二セシウム吸着装置(サリー) | 除染装置 | 淡水化装置(逆浸透膜) | 淡水化装置(蒸発濃縮) | 多核種除去設備(ALPS) |
|------|----------|-----------------|------|--------------|--------------|---------------|
| 運転状況 | 停止中 | 運転中*1 | 停止中 | 水バランスをみて断続運転 | 水バランスをみて断続運転 | ホット試験中*2 |

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。なお、A系については、11/29 12:40 から腐食対策有効性確認のために運転を停止中。B系については、本年 12 月下旬頃(予定)に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。

- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- ・H25/12/1 多核種除去設備（ALPS）C系については、11/18よりホット試験を再開しており、12/1の循環待機運転*から処理運転への移行を同日9:00に予定していたが、塩酸供給ポンプ（C）出口継ぎ手部から、塩酸がにじみ出ていることを発見したため、処理運転への移行を見合わせ、循環待機運転を継続。なお、塩酸のにじみについてはビニール袋で養生を実施。同日11:25に塩酸供給ポンプ（C）出入口弁の隔離を実施し、塩酸のにじみは10分に1滴程度で継続。また、以前より養生していたビニール袋内には、1リットル程度の塩酸が溜まっており、これについては容器に回収した。なお、隔離した範囲内の塩酸の抜き取り作業を行い、点検・手入れ作業中。

* 循環待機運転とは、吸着設備には通水せずアイドリング運転を行うモード。

< 5. その他 >

- ・H25/12/5 3号機原子炉格納容器ガス管理システムのチャコールフィルタ・粒子状フィルタのサンプリングを実施。
- ・H25/12/5 3号機原子炉建屋上部において、ダストサンプリングを実施。
- ・H25/12/4～12/5 1号機原子炉建屋機器ハッチ周りの建屋躯体調査を実施。
- ・H25/11/26 6:46頃 所内電源設備において「南側66kV所内変圧器2B GIS*1異常」の警報が発生し、同時刻に当該警報は自動復帰。事象発生当時、所内電源系に異常は確認されなかったが、その後の現場調査において、開閉所補助建屋に設置されている当該GIS用のインターフェース盤*2内に、小動物が侵入したと思われる痕跡（小動物の糞と思われるもの）を発見。また、当該インターフェース盤内に約1cm×約1cmの隙間が確認されたことから、隙間を塞ぐ処置を実施。当該インターフェース盤は、H25/3/18に発生した「福島第一原子力発電所1～4号機所内電源系の停電事故」の再発防止対策（ケーブル貫通箇所の開口部等を閉止する等の電源盤への小動物侵入防止対策）を行っていたが、今回、小動物が侵入したと思われる痕跡が確認されたことから、今後、他の所内電源盤についても小動物侵入の痕跡の有無を確認するとともに、他の侵入箇所がないか確認を実施する。

12/4 警報発生について原因を調査したところ、小動物の侵入（糞尿痕有り）により警報回路が一時的に通電状態になり誤警報が発生したものと推定。当該インターフェース盤、および開閉所関連盤について隙間なくシール処理を行うなどの小動物対策の改善処置を実施。

*1 ガス絶縁開閉装置（開閉所の66kV特別高圧側に使用）

*2 現場の制御盤の情報を集約し開閉所システムに伝送するための中継盤

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<タンクエリアパトロール実績（12/4）>

- ・高線量当量率箇所（β+γ線（70μm線量当量率））は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと（漏えい確認が出来ていない堰内溜まり水内を除く）を確認。
- ・サーモグラフィーによる水位確認（12/3撮影分の分析結果）により、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・E-1におけるトリチウム値が前日の3,200 Bq/Lから170,000 Bq/Lへ上昇しているが、これは近傍のウェルポイントにおいて地下水の汲み上げを12/2に停止したことによる変動と思われる。なお、地下水汲み上げ前のトリチウム濃度（採取日：11/26）は470,000 Bq/Lであった。

その他の分析結果については、前回と比較して有意な変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1, 2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット（南）地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は12/4 0:00時点で約6,164m³ *集水ピット（南）およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・今回新たに設置した1号機原子炉建屋山側のサブドレン（N1）のガンマ核種、全ベータ、トリチウム（12/3採取）の分析を実施。

[サブドレンN1 : 12/3 採取分]

- ・セシウム 134 : 検出限界値未満 (検出限界値 : 0.97 Bq/L)
- ・セシウム 137 : 検出限界値未満 (検出限界値 : 0.97 Bq/L)
- ・全ベータ : 検出限界値未満 (検出限界値 : 12 Bq/L)
- ・トリチウム : 36 Bq/L

- ・今回新たに採取した 2, 3 号機取水口間ウェルポイント汲み上げ水のガンマ核種、全ベータの分析を実施。

[2, 3 号機間ウェルポイント汲み上げ水 : 12/4 採取分]

- ・セシウム 134 : 0.75 Bq/L
- ・セシウム 137 : 1.5 Bq/L
- ・全ベータ : 110,000 Bq/L)

その他の分析結果については、前回採取分の測定結果と比較して有意な変動なし。

<移送関係>

- ・H25/12/3 15:35 2, 3 号機東側に設置したウェルポイント (バキュームによる強制的な揚水設備) からの地下水汲み上げ、2 号機タービン建屋への移送について移送開始。移送状況については漏えい等、異常のないことを確認。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。

地下貯水槽 No. 3 検知孔北東側および南西側の全ベータ値に上昇傾向がみられるが、地下貯水槽の浮き上がり防止工事の影響と考えている。他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No. 1 の汚染範囲調査開始。
- ・H25/10/23～ 地下貯水槽 No. 6 において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/15～ 地下貯水槽 No. 5 において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/19～ 地下貯水槽 No. 1 において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/28～ 地下貯水槽 No. 3 において浮き上がり対策を実施中。

以 上